

## 報告書

### 打田しづか選手によるジュニア指導者講習会

期日：平成29年11月12日（日） 9:00～16:00 場所：愛知産業大学体育館

愛知県バドミントン協会指導委員会が主催する「ジュニア指導者講習会」が開催されました。

本事業は、ジュニア競技力向上活動の一環として、選手育成に定評のある講師を招聘し県内指導者の技術アップを図ることをねらいとしています。

今回は、講師に打田しづかさんをお招きして講習会を開催しました。打田さんは、愛知県出身（大府中学校→岡崎城西高校→日本ユニシス）、国内外の大会で実績があり、現在は、KIZUNA ジャパンシンボルアスリートとして活躍 各種講習会・普及活動に尽力されています。また、講習会には、KIZUNA ジャパン販売促進部の石井孝典さんも同席され、講習会にバドミントン用品の試打ち用のラケット等を提供していただき、バドミントンのラケット、シャトル、ストリング等に関する情報を提供してもらいました。

1日の講習会を企画したところ、当日は指導者26名、ジュニア選手（小学生～高校生）43名の参加がありました。講習内容は、打田さんが選手時代に経験された指導の場面、海外遠征、合宿等で得た練習方法について紹介され、実技を交えて講習を展開する形式で展開されました。基本的なストレッチからバドミントン的な動きを重視した可動域の確保できるように誘導する内容、ヒッティング技術における体重（重心）移動に着目した動きづくりの一貫した指導内容、そしてシングルスとダブルスに共通して用いることができるコート内のエリアに制限を加えた練習方法と実践的な簡易ゲーム等、多岐にわたり指導者だけでなく、参加したジュニア選手も実践を交えて、講習内容の目的を理解していきました。

受講者からのアンケートの回答を一部、紹介します。

- 焦点を絞って、話をされていたので分かりやすかった。
- 体重移動、重心によりヒッティングの強弱を変えられることは、参考になった。
- ロブの際、シャトルに対してラケットの導き方（シャフトを縦・斜め）が参考になった。
- 講師自らが、お手本を見せてくれるので、一目瞭然で理解しやすかった。
- 各種メニューをする際の注意点など参考になりました。

以上のように、受講者から事前に講習に対する要望が、実施後のアンケートから講習内容と一致していました。

今後も指導委員会では競技者の技術力向上、指導者のスキルアップを検討して今回の企画も継続して実施していきます。県内の指導者間でのネットワークから、カテゴリー（年代、競技力別等）を超えた枠でバドミントンを学ぶ機会を計画していきますので、ご要望、ご意見等がありましたら指導委員会までお寄せ下さい。

（文責：指導委員会 藤巻裕昌）

